

基本姿勢（ベースⅠ・Ⅱ）について

1 審議会意見の概要

ロードマップ P32 第5章 将来像の実現に向けての前文

<委員>

ベースⅠ、ベースⅡについて、「行政はこのようにする」「市民はこのようにする」という話になっていますが、実はそれが一体となって新しい公共がどのように構築できるのかという話だと思います。

その新しい公共の概念は、ベースⅠとベースⅡが組み合わせられて実現していくはずですが、それがどこにも書かれていないし、別々になってしまっています。

<会長>

次回論したいと思いますし、次回までに事務局の方でも考えていただければと思います。

2 修正案・・・前文を修正＋イメージ図を追加

<ベース（基本姿勢）について>

社会の複雑化と市民ニーズの多様化が進む中、将来にわたって誰もが安心して住み続けたいなるまちとして発展していくためには、行政だけでなく、市民、自治会、NPO、企業、大学、研究機関、行政などまちづくりに関わる様々な主体が、これまで以上にネットワークを強化し、それぞれの役割と責任の下で、連携・協力する協働と役割分担のまちづくり、つまり新しい公共の考えに基づくまちづくりを進めることが不可欠となります。また、この新しい公共は、各主体間の交流や連携によりこれまでにない新たな価値を生み出す基盤にもなります。

この新しい公共を育む環境づくりにつながるベース（基本姿勢）を定めます。

